

## 関東・甲信・静支部のうごき

平成15年度は7月末日現在で、次の部会を開催した。

### 1 騒音振動専門部会

7月11日(金)、川崎市川崎区(川崎市いさご会館)において、13機関25名、環境省から5名の出席を得て、下記の講演および研究報告等を行った。

#### (1) 講演

「行財政改革時代における騒音振動研究のあり方について」(川崎市環境局公害部長)

#### (2) 議題(研究報告)

##### ①環境騒音の変動要素について

長野県衛生公害研究所

##### ②自動車のドア閉め音と始動音の測定結果

横浜市環境科学研究所

##### ③騒音政策検討のための環境騒音調査

千葉県環境研究センター

##### ④新幹線鉄道からの高周波帯域騒音実態調査

川崎市環境局公害部騒音振動課

##### ⑤新幹線騒音に対する住民反応について

神奈川県環境科学センター

##### ⑥在来線鉄道騒音の測定・評価方法について

千葉県環境研究センター

##### ⑦千葉市の一般地域における環境騒音調査とその課題

千葉市環境保健研究所

##### ⑧エクセルVBAによる環境騒音マップの作成

川崎市公害研究所

#### (3) 情報提供

##### ①東北新幹線(盛岡・八戸)に係る環境基準達成状況について

環境省環境管理局自動車環境対策課

##### ②平成14年度低周波音対策検討調査

環境省環境管理局大気生活環境室

#### (4) その他

関東甲信静支部騒音振動専門部会研究連絡会に関するアンケート結果の取扱いについて

#### (5) 次期開催担当機関

横浜市環境科学研究所

### 2 大気専門部会

7月28日(月)～29日(火)土浦市港町(サンレイク土浦)において、15機関25名の出席により、研究発表および講演会を行った。

#### (1) 研究発表

##### ①栃木県におけるSPMの挙動について

栃木県保健環境センター

##### ②PM2.5中PAHsの通年測定結果から

埼玉県環境科学国際センター

##### ③静岡県におけるPM2.5調査結果

静岡県環境衛生科学研究所

##### ④茨城県におけるSPM調査結果

茨城県公害技術センター

##### ⑤病院からの酸化エチレンガスの排出

東京都環境科学研究所

##### ⑥ダイオキシン類迅速分析の開発

神奈川県環境科学センター

##### ⑦酸性雨の金属材料への影響

長野県衛生公害研究所

##### ⑧川崎市における代理表面法を用いた乾性沈着量の年変化(1988年度～2001年度)

川崎市公害研究所

##### ⑨低硫黄軽油・酸化触媒システムによる大気汚染物質低減効果

横浜市環境科学研究所

##### ⑩大気及び雨水中のニトロフェノール

群馬県衛生環境研究所

##### ⑪有害大気汚染物質濃度と一般環境大気濃度との相関による精度管理

浜松市環境保健研究所

##### ⑫自動車から排出される有害大気物質—ベンゼン排出量の経年変化—

千葉県環境研究センター

#### (2) 講演会

大気中微小粒子に関する研究の動向と今後の課題

国立環境研究所 若松 伸司

#### (3) 来年度専門部会長について

来年度は東京都が担当することを確認した。

上記以外の動きとしては、水質専門部会を9月18日(木)～19日(金)静岡市(クーポール会館)、支部総会を9月4日(木)～5日(金)千葉市中央区(ホテルポートプラザちば)でそれぞれ開催の予定。